

# 2019 プロ野球12球団選手名鑑



広島東洋カープ



東京ヤクルトスワローズ



読売ジャイアンツ



横浜DeNAベイスターズ



中日ドラゴンズ



阪神タイガース

## 首脳陣

### 1軍

|           |       |    |
|-----------|-------|----|
| 監督        | 緒方 孝市 | 79 |
| ヘッドコーチ    | 高 信二  | 71 |
| 外野守備走塁コーチ | 廣瀬 純  | 75 |
| 内野守備走塁コーチ | 山田 和利 | 80 |
| 打撃コーチ     | 東出 輝裕 | 72 |
|           | 迎 祐一郎 | 91 |
| 投手コーチ     | 佐々岡真司 | 88 |
|           | 畝 龍実  | 78 |
| バッテリーコーチ  | 植田 幸弘 | 84 |

### 2軍

|           |       |    |
|-----------|-------|----|
| 監督        | 水本 勝己 | 89 |
| 外野守備走塁コーチ | 永田 利則 | 85 |
| 内野守備走塁コーチ | 玉木 朋孝 | 90 |
| 打撃コーチ     | 朝山 東洋 | 83 |
|           | 森笠 繁  | 92 |
| 投手コーチ     | 小林 幹英 | 73 |
|           | 菊地原 毅 | 86 |
| バッテリーコーチ  | 倉 義和  | 76 |

### 3軍

|           |       |    |
|-----------|-------|----|
| 統括コーチ     | 浅井 樹  | 82 |
| 投手コーチ     | 澤崎 俊和 | 87 |
| 投手コーチ強化担当 | 青木 勇人 | 93 |

## 野球太郎のお薦めオーダー

| お薦めオーダー |       | 予想先発 |                  |
|---------|-------|------|------------------|
| 1 SS    | 田中※   | .262 | ジョンソン※ 3.11      |
| 2 2B    | 菊池    | .233 | 大瀬良 2.62         |
| 3 LF    | 長野    | .290 | 野村 4.22          |
| 4 RF    | 鈴木    | .320 | 岡田 5.09          |
| 5 1B    | パティスタ | .242 | 九里 4.26          |
| 6 CF    | 野間※   | .286 | 中村祐 6.04         |
| 7 3B    | 西川※   | .309 | 藪田 5.74          |
| 8 C     | 會澤    | .305 |                  |
| 主なリリーフ  |       |      |                  |
|         | 今村    |      | 5.17             |
| C       | 石原    | .177 | 一岡 2.88          |
| C       | 磯村    | .215 | フランスア※ 1.66      |
| IF      | 安部※   | .236 | アドウフ 3.74        |
| IF      | 堂林    | .216 | 中田 13.14         |
| IF      | 上本○   | .091 | 永川 4.82          |
| OF      | 松山※   | .302 | レグナルト※ 4.77(AAA) |
| OF      | 下水流   | .263 | 中嶋=抑え 2.71       |

内野の安部友裕は三塁で主力級の実力。堂林翔太も三塁を狙う。松山竜平は昨季初めて規定打席に到達し、3番も打てる技量あり。先発は新外国人右腕のローレンス、楽天から移籍した菊池保則も候補。リリーフは昨季途中加入のヘルウェグも控えている。

※=打者は左打、投手は左投、○=両打  
打者の記録は打率、投手は防御率です。

打つ実力があり、レフトを守る。センターには成長著しい野間峻祥がいるので、特別な即戦力補強なしに攻守を維持できそうだ。

投手陣では、中継ぎ要員として新外国人左腕のレグナルトを獲得。

左はフランスア一人だっただけに意義ある補強で、若手のアドウフ誠も台頭した救援陣は充実。反対に先発陣は主力が不調だったなかで若手の伸びがなく、今年も打線の助けが必要になるだろう。

ドラフトでは1位で、ポスト田中広輔、の小園海斗を獲得。次世代への備えができたのは大きい。2位の島内颯太郎は球に力がある。大学出の右腕で、即戦力候補だ。

## 投手陣

先発陣は昨季15勝で最多勝の大瀬良大地が軸。11勝のジョンソンとともに二本柱は確立している。

問題は三番手以降で、8勝の岡田明文は防御率5.0点台、7勝の野村祐輔は4.0点台、救援でも投げて8勝の九里亜運も4.0点台と、安定感がない。これは若手の中村祐太、藪田和樹にしても同じことで、頭数はそろっても不安が残る。

救援陣は抑えの中崎翔太が健在で、一岡竜司と左のフランスアがセットアップパー。中継ぎはアドウフ、今村猛、中田廉ら駒がそろい、不足していた左は新外国人のレグ

ナルトがいる。大きな不安はない、と言っているだろう。

捕手陣は會澤翼がレギュラー。昨季は13本塁打と打力が光ったが、盗塁阻止率・2.45は要改善。二番手はベテランの石原慶幸、三番手は磯村嘉孝だが、若手の坂倉将吾にも経験を積ませたい。

## 野手陣

昨季はチーム得点、本塁打、盗塁がリーグ断トツ。ここから丸の挙げた109得点、39本塁打、10盗塁を差し引くと、盗塁以外は3位になる。つまり数字の上では機動力は維持されても、得点力は確実に弱まる。どう補うか。

まず、タナキクマルのタナキク。はそのままに、3番には3割15本は打てる長野を配置。4番は鈴木誠也で決まりで、5番は25本55打点のパティスタが適任。下位の6番には3割も狙える野間、7番にはやはり打力が伸びた西川龍馬、8番に打てる捕手の會澤。3番には松山竜平も控えており、得点力の激減は防げそうだ。

守りは、タナキク。の二遊間が鉄壁に近い。三塁は西川が17失策と穴になったが、守備は無難な安部友裕が控えている。外野はセンターに野間、ライトに鈴木、レフトに長野で安定する。ここでは丸の不在は感じられない。